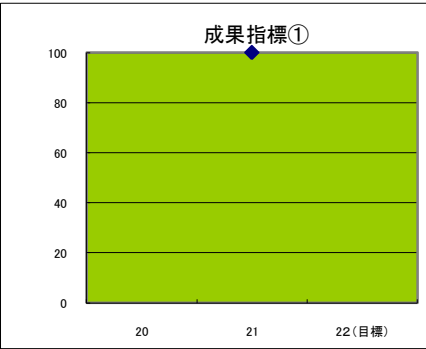
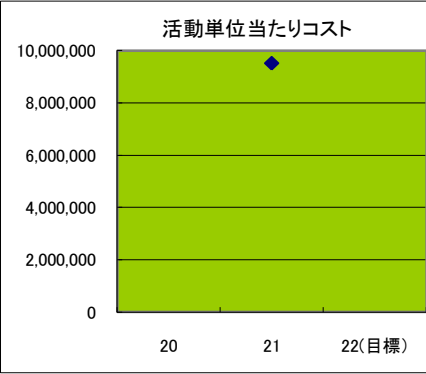


事務事業名	古市地区花いっぱい運動事業			会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	款	8	土木費
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化	項	4	都市計画費
	施策の方向	(1)	緑地の保全と緑化の推進	目	3	公園費
				事業	59	古市地区花いっぱい運動
関連する計画等				作成部署	土木部みどり公園課	
事業の目的	対象(誰を・何を) 市民 意図(どういった状態にしたいのか) 潤いのある緑化による街づくり創出と市民の意識の向上を図るきっかけをつくる。			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2420	
事業の内容	圃場において、種から育成し、花苗を地域の公共の場に配布することにより市民が緑化に関心を持ち自ら参加して潤いのある緑化による街づくりをめざす事業である。新規事業として試行しながらのため、現在は古市地区限定で行う。 配布計画花苗株数 年2回4,000株					
根拠法令等						
事業開始時期	☐ 昭和 21 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化	平成21年度は圃場の整備を行い、本格始動は平成22年度4月からは6月、11月の2回配布を予定している。					
市民や議会の要望						
実施手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			委託内容		

区 分		20年度	21年度	22年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】		(千円)	0	7,270	160
人件費【2】		(千円)	0	2,244	2,244
職員数	正規職員	0.00 人	0.28 人	0.28 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.08 人	0.08 人	
	超過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】		(千円)	0	9,514	2,404
財源内訳	国費	(千円)			
	府費	(千円)			
	市債	(千円)			
	その他 (手数料・使用料等)	(千円)			
	一般財源	(千円)	0	9,514	2,404
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	20年度	21年度	22年度(目標)
① 圃場の整備箇所	箇所			1	
② 配布回数	回				2
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		円	9,514,000 円		円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		0 円	80 円		20 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	①	圃場整備率	%	花苗育成を適正に行える環境が整った圃場整備されているか	目標	100	達成率(%)
		(式) 圃場整備予定回数÷実績圃場回数×100			実績	100	100.0%
	②	(式)			目標		達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民が地域緑化に意識向上のため、市の関与が必要である。
								○	○		

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	緑に対する関心を高め、地域緑化への市民参画事業として妥当である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☒	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	職員の手で育苗を行うため、配布回数や花苗株数については育苗業者などからご指導いただき適正に事業を開始します。
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	長期にわたり実施することにより、まち全体が緑化意識の向上につながる。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐	市民が育てやすく、長期に咲く花を育苗し、配布する事業を行政主導で実施する。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☒	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☒	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	年2回配布達成に向けて取り組む。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	本格実施事業は、平成22年度からであり評価できない。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	地域緑化及び市民ニーズを把握し、育苗方法等を常に工夫検討し続ける必要がある。

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	